

再び正義の士に訴ふ！

私達東京朝日新聞の配達員が、中間搾取魔岩月監理所に對して待遇改善の嘆願書を提出し、容れられずして止むなく争議に入つたことは、既に諸君のよく御承知のことと思ひます。當の東京朝日新聞は勿論、其の他一切の諸新聞も、私達の争議に就いての報導を皆さんに傳えることを避けてゐますが、ストライキに入つてより既に十數日、其の間岩月監理所の御雇ひ暴力團——大和民勞會の數回に亘る争議團襲撃、争議團員の痛憤の結果の鐵道自殺等々の事件あり、問題は日本大衆黨所屬代議士淺原健三氏によつて議會にまで持出され、今や東京市内外誰知らぬ者もない事實となつてゐます。

然るに、飽くまで争議を暗黙の間に葬らんとするか東朝本社及び岩月監理所が、争議團一同の堅き結束と、弱者に味方して横暴な資本魔を懲さんとする社會正義の士の争議團に對する同情との前に周章狼狽し、昨今號外やうのものを發行して聞くも馬鹿らしいやうな子供だましの逆宣傳を始めたことも、既に諸君のよく御承知のことと思ひます。争議團に就いての記事を新聞では隠して置いて、私達を中傷せんとする感情で一杯になつて來ると、我を忘れて號外らしいものを發行する——頭隠して尻隠さずとは此の事です。彼等は言ふのです、争議は赤化運動者の策動であり、東朝争議團と稱するも、本社従業員には何の關係もないものである、と。

諸君！米が四十錢する世の中で、給料を三十五圓にして呉れと嘆願することがなぜ非難されねばならないのでせうか？法律でさえ押し賣を禁じてゐる世の中で、押し賣——強制勧誘をさせないで呉れと嘆願することが、なぜに『赤化運動とやらなのでせうか？』反對に我々は反問し度い。數千の未來ある青年を蚤と南京虫の巢窟に押し込め、脚氣と榮養不良とを強制し、止むに止まれぬ胃の腑の要求から一度び我々が結束して起つや、白晝公然礼付きの暴力團を武装せしめて、身に寸鐵を帯びない争議團員を負傷せしめし、東朝本社及び岩月監理所の行爲こそ、營利のためには人命を犠牲とすることも敢えて辭せない不逞行爲ではないか、と。

又我々は反問し度い。我々争議團一同が、事實東京朝日新聞の従業員でないならば、なぜに原宿、中野、堀の内、代田橋、雑色、藏前、東洲布、本所、沼袋、國分寺、桃園、南千住、大森、築地、淺草、經堂の直配所區域内の配達が殆んど或ひは大部分、不能となつてゐるのか？我々争議團員が從來やつてゐた配達を停止したからこそ、それ等の地域に於いて東京朝日の配達が出来なくなつたのではないか？記事の正確を生命とすべき新聞社として、そんな出鱈目を宣傳することとは、果して讀者に對して忠實な所以であるか？それは讀者を欺ぐものではないか？それとも自己の飽くなき食欲を満足させるためには、社會の指針などと稱してゐた從來の讀者に對する誓約を捨て、もよよいのか？それが大新聞の態度なのか？東京朝日と、三百代官の發行するモグリ専門の新聞紙と、どこが一體違つてゐるのか？暴力と僥倖とを以て數千の従業員を食と涙との暗黒の中に閉じ籠むる東京朝日新聞！口に自由と正義とを説きながら、行爲に於いて中世の暴君を眞似る東京朝日新聞！此の東京朝日新聞が、文化の代表者など、誇稱することこそシヤラ臭い！

諸君！中傷と迫害との中に立ちながら、争議團一同はよく戦つてゐます。我々は決して只單に鬭争を好むものではありませんが、岩月監主及び東朝本社が、従業員的生活状態の改善に關心を持つてゐることを、事實を以て示すまでは、飽くまで戦ひます。これは又、少數全權者の専横を懲らし、大多數の國民の幸福を願はると、大部分の社會正義の士の意志にも副ふことと思ひます。どうか諸氏の同情を以て、我々を勝たせて下さい。そしてそのために、一齊に東京朝日の購費を中止して下さい。既に我々に同情して、東京朝日の購費を中止された人が數千に昇つてゐます。我々は未參加新聞配達をどしどし参加させて行きます。皆さんは一齊に朝日の購費を中止して下さい。こゝ十日間内に、東京市内外に一枚の東京朝日新聞の影も見えないやうにしてしまひませう。そしたら、如何に我利々々首者の彼等でも、止むなく、我を折らざるを得ないでせう。是非お願ひします。

我々争議團一同の命を懸けてのお願いです。是非お願ひします。

三月二十九日

關東全產業勞働組合
全國新聞勞働組合
東京朝日新聞争議團一同

市外中野町西町三五九八